

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.22  
令和5年2月8日  
文責：校長 松野克己

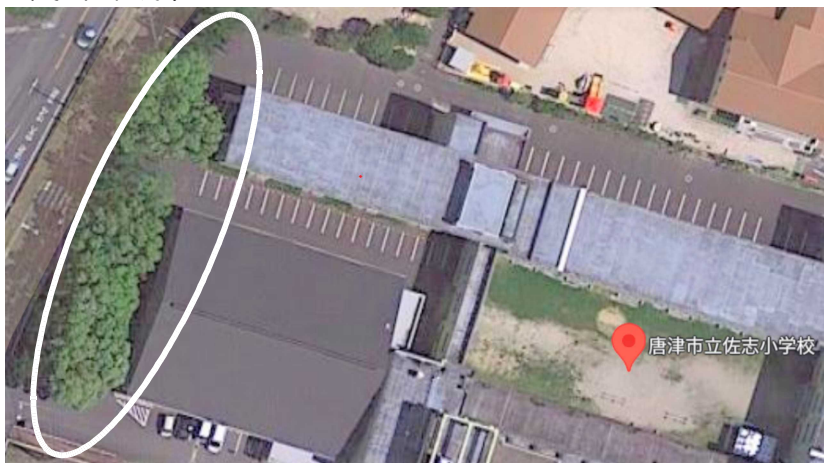
## 人権コンサートをひらきました



2月2日(木)に佐志中と共同で人権コンサートをひらきました。来ていただいたバンドは「BLOWS」という長崎県平戸市を中心に活動しているアマチュアバンドで、音楽イベントや障がい者施設、学校の人権集会等で講演やコンサート活動をされているそうです。佐志公民館に5・6年生児童が行き、佐志中1年生は学校の都合でオンライン参加となりました。私は演奏を聞くことはできませんでしたが、障がいの有無は人のつながりの壁にはならないというメッセージのこもったお話や演奏だったそうです。このBLOWSの活動拠点である田平町という場所は、私が高校まで住んでいた町のすぐ北側にあり、ごあいさつの時はローカルな話題に花が咲き、親近感をいただきました。このコンサートの様子は「佐志小ブログ」にあげていますので、よかったですらご覧ください。

## 校舎西側の樹木伐採がありました

佐志小学校の校舎西側の樹木の枝が、台風14号でぽっきりと折れていました。この先も、倒れたり枝が折れたりする危険性があるため、この度、思い切った伐採がありました。夏場の日よけにはなっていたのですが、秋の落ち葉の量が半端なく、用務員さん泣かせてました。また、校門から通りに出るときに、右方向の見通しがきかず、事故の危険性もあったのが、この伐採でずいぶん見通しがきくようになりました。



## 工事車両や工事箇所には引き続き用心を

今年度末までの工事終了を予定していた唐房トンネルの開通が遅れることとなりました。現在は唐房交差点から浜町交差点の間、鳩川バス停付近を中心に道路工事が行われていますが、さらに門前付近の法面工事に時間がかかるそうです。当然工事車両も通っており、学校から責任者の方には速度に気を付けた安全運転をお願いしていますが、事故の起きやすい状況に変わりはありません。特に道幅の狭い唐房、鳩川周辺は心配です。学校では度々、注意を呼びかけています。

## マスク着用は継続します

政府は新型コロナの感染法上の分類を5月8日から、インフルエンザ同様の5類に引き下げることを決定しました。これによって、感染者や濃厚接触者の待機期間がなくなったり、大声を伴うイベントへの人数制限が撤廃されたりします。学校でのマスク着用の緩和も話題になっていますが、明確な方針は出ていません。現時点で、本校ではこれまでの室内での着用は継続します。コロナ感染が確実に収束に向かっているわけではありませんし、今年度はインフルエンザも流行しているからです。屋外や息苦しいときなどは外すことも認めています。6年生の保護者さんは卒業式が気になるころでしょう。入場や証書授与、写真撮影のときなどは外す方向で検討しています。

# 4年お茶の入れ方教室

2月6日(月)に4年生がお茶の入れ方教室を行いました。子ども達に「からつ茶」の味を知ってもらいたいということで、JAからつ北波多製茶工場の久保さんに来ていただきました。佐賀県のお茶というと「うれしの茶」が思い浮かびますが、唐津市は県内で2番目の産地で、北波多や七山で生産されているそうです。ただ、消費量が下がって生産者も年々減っているとのことでした。

おいしいお茶の入れ方のポイントとして、左のようなことを教わりながらお茶を入れていきました。このやり方で入れたお茶は、お茶の味わいがしっかりして甘みも感じるおいしさでした。この後、水出し茶も飲ませてもらいました。すっきりした味わいでしたが、やはり手順を踏んだお茶の方がおいしかったですね。ところが、子ども達に聞くと、水出し茶の方がおいしいと答えた子が約半数いました。最初に飲んだお茶は苦く感じたそうです。中には急須で入れたお茶をほとんど飲んだことのない子もいました。

- お湯の量 一人分約180cc
- お湯の温度 約70℃
- 茶葉の量 一人分約2g
- 待ち時間 約60秒
- 廻し注ぎをする。  
※玉緑茶 煎茶の場合

古い話で恐縮ですが、私が大人になる前はお茶を自販機で買うという感覚は全くありませんでした。1975年頃から缶のお茶が売られはじめ1990年頃からペットボトルのお茶が販売されるようになると、またたく間にお茶はペットボトルが主流になったそうです。子ども達にとってはペットボトルのお茶が知っているお茶の味ですから、急須のお茶をおいしくないと感じたのも無理はないでしょう。かく言う私も普段は、ほぼペットボトルのお茶しか飲んでいません。このお茶の入れ方教室の日の夜、久々に急須で入れたお茶を飲みました。とは言え、ポットから熱湯を注ぎ、すぐに湯飲みに注ぎましたけど・・・でも、おいしく感じました。



## 2月の全校朝会のお話

2月3日(金)の全校朝会は、ちょうどこの日が節分でしたから、その由来などをお話しました。節分は翌日の立春との季節の境目にあたることや、災いの鬼は豆が嫌いなので豆まきをすることなど・・・。また、古い話をしますが、私が子供の頃は豆まきは盛大にやったものの、恵方巻きを食べることなんて全くなかったですね。

毎年思うことですが、早いもので3学期もまもなく中間地点です。登校日数はすでに30日を切っています。今の学年の締めくくりとしての日々を大切に頑張りたいと思います。

### 全校朝会で話したこと(後半)

今日は2月3日。5年生以下のみなさんが学校に来るのが残り33日。6年生は30日を切って29日となります。「自分も他者も大切に作るさしっ子になろう」という佐志小みんなの目標を覚えていますよね。この目標がちゃんとできているかを確認する時期になりました。

- ・手を洗ったり運動をしたり野菜を食べたりして自分の体を大切にしていますか。
- ・毎日の授業や宿題にしっかり取り組んで、自分の考える力を高めていますか。
- ・友達や家族、先生など身近な人に優しく接していますか。悪口や文句を言ったりして、相手の心を傷つけていませんか。
- ・あいさつ、ちゃんとしていますか。「おはようございます」「こんにちは」「いただきます」そういう言葉をちゃんと言葉で伝えることが大切です。

節分は季節の変わり目。この日を、今日までの自分を振り返り、心の中のおくない鬼を追い払い、明日からの自分も他者も大切に作る節目の日にしてくれると嬉しいです。